

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.168

2019. 10. 1
発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227

「日本国憲法を知っていますか？」今年も市内6高校にリーフレット配布

—平和憲法・9条を守る花巻市民の会—



高校生に日本国憲法をより深く知ってもらおうと、水色の三つ折リーフレットを作成し、毎年夏休み明けの8月末に、花巻北・花巻南・花巻東・花巻農・花北青雲・大迫の市内6高校で登校する生徒さんに手渡ししています。今年も車で送られてきたり、自転車で駆け込む生徒を除き、約1,300名（全生徒の約45%）に配布することができました。ほとんどの生徒が礼儀正しく素直に受け取ってくれたので、この日は教室内や

家庭で日本国憲法が大いに話題に上がったと期待しています。

この花巻の運動は3年目になりますが、「私たちの暮らしに憲法をいかそう！建国記念の日を考える市民のつどい」や、「9条の会東北交流会」などで紹介されました。他地区からも問い合わせが多くあり、盛岡・奥州・釜石等でも取り組まれています。この取り組みが全県、全国に広がることを期待します。（加藤昭雄）



お知らせ ＜秋田雨雀・土方与志記念青年劇場「あの夏の絵」盛岡公演＞

12月7日(土) 13:30~15:35(開場13:00) 盛岡市キャリアホール大ホール

前売券／一般 3,000 円(当日 3,500 円) 小学生～大学生 1,000 円(当日も同一価格) **全席自由**



主 催：ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会
後 援：岩手県、盛岡市、PTA 連合会、テレビ岩手や岩手日報社などマスコミ各社他
被爆体験を聞いて油絵にする広島市立基町高校の生徒の活動を舞台化。記憶を伝え残すために語り始めた被爆者と、それを受けとめ、絵に表現することに挑んだ高校生たちの夏の物語。全国で上演され、大反響を呼んでいます。
鑑賞された方の感想：小学生の息子に、どのように原爆のことを伝えようか時々考えています。「あの夏の絵」を観て思ったのは、子どもにこそこの劇を観せたい、ということ。もちろん中学生、高校生にも広く観てもらいたい。観劇という体験を通じて、継承に向けた「経験の重ね合わせ」が多くの人に広がっていくことを願います。

◇チケットは盛岡市内各プレイガイド、生協店舗等で販売中。当日は会場で油絵のレプリカも展示。

広めよう！「安倍9条改憲NO！憲法をいかす全国統一署名」
岩手の3,000万署名数は17万6千筆（9月末現在）

署名ハガキの返信は、420通・1,250筆分に

《10月の署名活動》 9日(水)12:15~12:45 盛岡市大通・野村證券前

安倍政権下での改憲に多くの国民が反対の声を上げている中、安倍首相は改憲論議を進めようとしています。引き続き 3,000 万署名を呼びかけますので、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

あの惨禍を繰り返さないために

～いわて生協の
平和の取り組み～

○「ピースアクション in ヒロシマ」への参加

被爆体験の継承や核兵器のない世界を求める思いを共有する場として、毎年8月に日本生協連主催で「ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ」が開催されています。今年いわて生協からは、大人3名と小学生2名の代表が組合員のみなさんから寄せられた募金を活用して学んできました。

<参加者の感想> (抜粋)

- ◆8月6日平和記念式典での広島市長の平和宣言と子ども代表の「平和の誓い」を、一言一言意味を考えながら聞いた。安倍首相のあいさつも聞いたが、なぜ核兵器禁止条約に参加しないのかと思った。私ができることは、「感じたことを近くの人にそのまま伝えること」です。(岩手郡コープ 佐々木さん)
- ◆ガイドさんと被爆者の話を聞き、被爆体験を直接聞く重みを感じた。「際に体験したことを伝える」とことと「聞いたことを伝える」とことでは違いがあり、「被爆者の生の声を聴いてほしい」というのは、そういうことかと思った。被爆者は平均年齢80歳を超え、語れる人が少なくなっている現実。できる限り多くの人に生の声で聴いてもらい、悲惨な戦争が繰り返されないように私も伝えて行きたい。(北上コープ 伊藤さん)
- ◆ぼくは、今回参加する前に「折りづるの旅」という本を読んだ。本に書いてあった「さだこさんの像」は大きかった。戦争はこわくて悲しい人がたくさんになるので、ぜったいしないほうがいい。夏休みの自由研究でヒロシマのことを友だちに教えたいと思った。(小学4年 龍哉くん)



○平和のつどい

毎年8月9日に、盛岡市高松の池の畔にある平和祈念像「望み」前で「平和のつどいを」を開催。今年は40名が参加し、はじめに平和祈念像と周辺を清掃。ピースアクション in ヒロシマ参加報告のあと、「青い空は」など平和の歌を合唱。そして、長崎の原爆投下時間11:02に近く、教会の鐘の音に合わせ、犠牲者を悼むとともに二度と戦争が起きないよう全員で黙祷しました。



香港問題、民主的で平和的な解決はできないのか

香港の「逃亡犯条例」改正案の問題を巡り、日本の報道が絶え間ありません。焦点は、アメリカ合衆国議会での「香港人権・民主主義法案」の審議促進に期待するかのような報道です。だとするならば、またもアメリカは他国に政治介入する権限を大統領に与えようとしていることであり、それは問題だと思います。国際連合があるのですから、中国の「香港」に国際政治上問題があるとするなら、中国も加盟国である国際連合が解決すべきものだと思います。アメリカ合衆国は大国であっても、国際連合がある下ではアメリカと言えども、単独行動を取るべき権限は与えられていない筈です。香港はイギリスから中国（中華人民共和国）に返還されたものであり、香港は中国の一部になったのであり、もしそこに人権問題など国際問題が生じたなら国際連合が関与すべきであり、超大国アメリカと言えども単独で関与することは出来ない筈です。

まずは香港政府、市民、北京政府が民主的、平和的に対話を始めるべきです。香港市民が暴力、破壊の過激行動を諫める立法会議員の呼びかけに応じて、過激な行動を控えて香港政府と対話をしたら、「五大要求」の「一つ半」が実現！しかし、その後数万人のデモ隊が在香港米総領事館に請願行動、一部デモ隊が路上にバリケード、破壊行動などをして、警官隊に鎮圧、催涙弾を発射されたりしました。暴力と破壊には鎮圧があるのみ！

民主主義に対しては、民主と平和が求められると思います。日本も第2次大戦中イギリスの植民地であった香港を3年半占領支配し、「香港史上最も暗黒の時代」と言われた歴史を想起、反省し、香港が中華人民共和国の一部地域として同国の中で発展することを願うべきではないでしょうか。以上は「指図」ではなく「意見」です。(T)